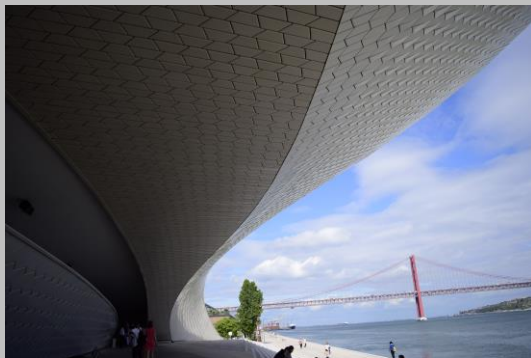
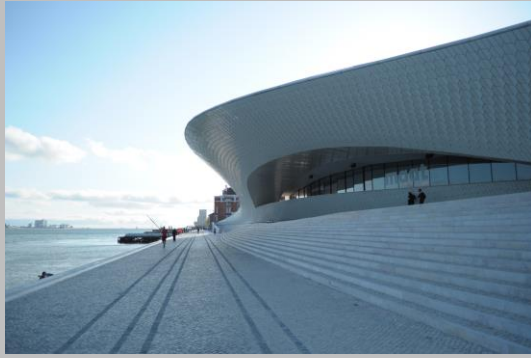


03.MAAT



MAAT はアマンダ・レプトの設計で、2016 年に竣工した美術館である。テージョ川沿いに位置するこの建物は、ポルトガルの伝統的なタイルである、アズレージョを 1 万 5000 枚使い覆っている。他のアズレージョを使った建物と大きく違う点は、流線的な 3D カーブを描いた建物に合わせて、台形のタイルを貼る事で、滑らかで、豪快な曲線を描いていて、印象的であった。川に当たった光が反射する事で、時折外壁がキラリと光っていて、川とタイルの間で、不思議な光に包まれるような感覚であった。

スロープで建物の上へと昇ることができ、先端に来ると、まるで川へと飛び込めるような感覚を味わうことができ、テージョ川との繋がりのようなモノを感じた。

また、建物屋上は、緩やかなスロープと段差の少ない階段で構成されていて、そこに腰掛けてくつろぐ人々が多くいた。そこでは、緩やかな時の流れを感じることができた。

MAAT は一見、3D 曲線の造形美が目を引く建物だが、実はそこで感じられる体験をデザインした建物ではないかと感じた。